



ネパールの先生と話そう

—コックの送り出し村の教員が語る移民の子どもへの教育

[日時] 2023年 **10月29日**(日) 13:45-16:30 (受付開始 13:30)

[場所] 国労大阪会館 3階大会議室 (対面のみ、オンライン配信なし)

大阪府大阪市北区錦町2-2 TEL:06-6354-0661 (天満駅より徒歩5分)

[対象] 外国ルーツの子どもへの教育に関わる教員、支援者、学生、一般

[言語] 日本語 (一部、英語・ネパール語から日本語への逐次通訳あり)

[定員] 50名 (先着順、定員到達時点で申込締切)

[参加費] 無料

[申し込み方法] Google Form <https://forms.gle/TbDkojxwQUCY3grJ6>

[注意] 発熱など体調不良の場合は出席をお控えください。緊急時以外、運営側からは連絡しませんので、ご了承ください。

[プログラム]

ドキュメンタリー映画上映「Who is responsible for their future?:

Voices of the returned children from Japan to Nepal」

(邦題「彼らの将来に誰が責任をもつのか?: 日本からネパールに戻った

子どもたちの声) <音声:ネパール語、字幕:日本語>

「外国につながる子どもと若者の母国語・母語・継承語使用に
ついてのアンケート調査」中間報告

安念真衣子 (国際ファッション専門職大学教員)

「コックの送り出し村の子ども」

ビル・バハドゥール・ボハラ (バグルン郡学校教員)

「親の移動がネパールの子どもの教育に与える影響」

マナ・バハドゥール・カトリ (カトマンズ市学校教員)

司会・進行 田中雅子 (上智大学教員)

[主催] 「日本と出身国を往来する移民の子どもの社会再統合を見据えた言語教育

—母語・公用語の補習教室を地域の「多文化共生」の拠点に」(Migrant Children Language: MICLE)プロジェクト

[共催] NPO法人おおさか子ども多文化センター(OKoTaC) / 公益財団法人とよなか国際交流協会

[助成] トヨタ財団2022年度国際助成プログラム

[問い合わせ] メール micleproject2022@gmail.com / 電話 06-6586-9477 (OKoTaC 平日午後1時から5時のみ)



申し込みフォーム

